平成 16 年度　秋期　情報セキュリティアドミニストレータ試験　解答例

午後 I 試験

問１

設問		解答例・解答の要点		備考
設問１	**(1)**	**a**	不正アクセス行為の禁止等に関する法律　又は　不正アクセス禁止法	
	(2)	**b**	著作	
		c	特許	
	(3)	**d**	エ	
		e	オ	
設問２		**発言番号**	⑰	
		理由	業務委託先の情報セキュリティの管理状況を把握していないから	
設問３	①	・秘密情報とそれ以外が区別されていること		
	②	・秘密情報をアクセスできる者が制限されていること		
設問４	**(1)**	・情報の外部流出リスクの増大に対する従業員の無関心 ・従業員が情報の外部流出リスクに気付いていないこと		
	(2)	・課長は業務を熟知しているので，職場の業務特性や情報の重要度に即した説明を行えること ・同じ職場の課長が説明することで，情報流出の危険が自部門にも存在することを実感できること		

問２

設問		解答例・解答の要点		備考
設問１		**a**	B	
		b	C	順不同
		c	H	
		d	E	順不同
		e	F	
設問２		各社内サーバの時刻を同期させること		
設問３	**(1)**	(a)改ざん　又は　(b)破壊　又は　(c)消去		
	(2)	次の内容のいずれかを理由として説明していること (1)で(a)又は(b)又は(c)を解答した場合 ・同じログが複数のサーバに保管されることによって，それらすべてが脅威にさらされる可能性が低くなる。 ・同じログが複数のサーバに保管されているため，一方のログがもう一方のログのバックアップとして機能している。 (1)で(a)を解答した場合 ・複数のサーバに保管されたログを相互に比較することによって，改ざんを検知できる。		
設問４	**(1)**	次の内容のいずれかを理由として説明していること ・アカウントの正当な所有者によるログインと，なりすましによるログインが，ログの記録項目だけでは区別できないこと ・ログに記載されたアカウント名だけでは，実際にアカウントを利用した社員を特定できないこと		
	(2)	表 2 に示した“記録される項目”を用いて，次の内容のいずれかについて具体的に記述していること ・普段ログインする時間帯やログインに利用する機器の IP アドレスなど，通常時におけるログイン／ログアウトのパターンを把握しておくこと ・なりすましが発生した場合のログイン／ログアウトの時間帯や送信元 IP アドレスなどを記録しておき，異常状態の検知に役立てること		

問3

設問		解答例・解答の要点		備考
設問1		a	カ	
		b	ア	
		c	ク	
設問2		次の内容のいずれかを適切に記述していること ・Web_1～4，Proxy を対象に，ワーム U の感染の有無を調べること ・FW 又は Proxy を対象に，営業部員のノート PC から社外へのワーム U の FTP 転送が行われていないかを調べること		
設問3		アンケートで収集した個人情報の漏えい		
設問4	(1)	例えば“Web_1 と Web_4 間の通信”，“ノート PC と Web_1 間の通信”のように次の二つの条件を満たす通信を，送受信機器の組合せで記述していること 条件 1：図 1 のフィルタリング確定内容で許可されている通信であること 条件 2：本文中で必要であることが示されている“イントラネットの全ノート PC から Proxy 経由で社外サーバに至る通信”以外の通信のあること		
	(2)	d	・すべての Web サーバにウイルス対策ソフトを導入する。	
		e	・すべての Web サーバに最新のセキュリティパッチを適用する。 ・すべてのサーバの不要なサービスを停止する。 ・ノート PC の持ち出し管理に関する規則を制定し運用する。	

問4

設問		解答例・解答の要点			備考
設問1		a	IC カード　又は　ID カード　又は　入館許可証		
		b	監視カメラ　又は　防犯カメラ　又は　監視装置		
設問2		4	番号	(2)	
			理由	非常用電源だけでは瞬断のおそれがあるから	
			要件	・UPS を設置すること ・CVCF と UPS を併用すること	
		5	番号	(2)	
			理由	・断水時に空調機が運転できないから ・給排水管の損傷によって運転できないから ・給排水管の漏水で機器が損傷を受けるから	
			要件	空冷式の空調機を採用すること	
		6	番号	(2)	
			理由	泡消火では機器への悪影響があるから	
			要件	不活性ガスを用いた消火設備を用いること	
		7	番号	(1)	
			理由	網入りガラスは破壊されるおそれがあるから	
			要件	・二重合わせガラスなど材質を強化すること ・外壁に窓ガラスを設置しないこと ・シャッターや鉄格子などで補強すること	
設問3	(1)	1.(2)			
	(2)	・FW の常時ログ監視サービス ・ホスト型 IDS による常時監視サービス			
	(3)	・ネットワーク型 IDS 設置による常時監視サービス ・IPS 設置による常時監視サービス			